

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名	小瀬スポーツ公園					
指定管理者	(財)山梨県体育協会					
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	以下にあげる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ・スポーツの場を提供すること ・主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること					
指定管理者が行う業務	施設・備品の管理運営業務 スポーツ振興業務 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 県が実施する大会等への協力					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	概ね業務計画書以上の管理を実施した。 施設の老朽化に伴う劣化及び不具合箇所等の早期発見・修繕を行うとともに、整った公園環境や高レベルな機能を提供できるスポーツ施設を維持するため、適切な保守・点検や植栽管理を計画以上に実施したことにより、来園者・施設利用者にとって安全で快適な環境を提供できたものとする。	全体的に、適切な維持管理が行われている。 施設の供用開始から20年以上が経過しており、各所が老朽化しているため、不具合箇所等の早期の発見及び修繕に努め、適切な維持管理を行うこと。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	多くの県民に親しまれる憩いの場として、また県内で最も充実した複合スポーツ施設としてその機能を十分に発揮できるよう取り組んだ。 経年劣化等により頻繁に発生する施設・設備等の修繕においては、可能な限り迅速に対応し安全確保を第一に利便性を低下させないよう実施した。 ヴァンフォーレ甲府のホームスタジアムとして多くの県民が訪れる陸上競技場は、Jリーグの基準を維持するとともにピッチは刈り込み回数を大幅に増やすなどの取り組みにより国内のJリーグ開催競技場の中で上位から8番目という高評価を得た。 引き続き多くの県民により親しまれる公園を目指し諸事業に取り組んで行く。	適切な運営が行われていると評価できる。 施設利用の促進に向けて、積極的な広報活動が行われるとともに、各種のイベントが多く開催され、積極的な利用促進が図られていた。プロ野球の誘致や絵画写真展等、引き続き公園利用者が増加する興行を企画・実施すること。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	業務計画書どおり実施した。 自動販売機の設置や臨時売店、レストラン等飲食事業を実施するなど、来園者のサービス向上に努めた。 プロ野球の誘致、各種イベントやスポーツ教室の実施により、県民の皆様を観るスポーツやスポーツへの参加の機会を提供できたものとする。	プロ野球の試合が実施されたのは、指定管理者の努力によるものと評価できる。次年度以降も引き続き事業の企画・実施を継続して行うこと。				
利用者満足度調査	調査結果	利用者の声				
	満足度 総合満足度 満足82% 普通17% 不満1% 満足度評価値=82/(82+1)=98% 良好な緑地景観、環境を提供すること 80% 遊び、憩いの場を提供すること 79% スポーツの場を提供すること(意見記述) 主催事業を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること 92% サービスの提供 77% イベント 88% 教室 96%	・来年も楽しみにしています。他のチームの人たちとふれあえて良かった。 ・電話で申し込んだのに、名前の読み方が違って登録されていたのが残念でした。 ・軽スポーツ種目を多種実施して欲しい。もう少しハードな種目もお願いします。 ・初めての参加でしたが、参加者も多くいろんなペアと対戦できて充実していた。より多くの方と対戦したいので年間の回数をもっと増やして欲しい。等				
利用者満足度調査	評価	施設所管課の評価・指導内容				
	82%の方から満足との評価をいただいた。今後もこの評価を向上させるよう各項目において最大限の取り組みを行っていく。 個別要望の内、施設改善については、県との協議のなかで進めていきたい。	満足度評価値は非常に高く、全体的に良好な評価となっている。利用者のニーズを十分に把握した上で利用者からの要望の実現に向けて努力すること。 なお、現在満足度調査を行っていない施設(自主事業)等についても、調査の実施がサービスの向上につながるかと考えられるのでアンケート等を実施すること。				
利用実績	利用者数	H18年度実績(人)	H19年度計画(人)	H19年度実績(人)	H20年度目標(人)	
	公園利用者数 有料施設利用者数 (観客数を含む)	1,464,244 564,900 (-)	1,465,000 565,000 (885,000)	1,613,800 591,927 (1,005,502)	1,550,000 569,000 (965,000)	
利用実績	評価	施設所管課の評価・指導内容				
	指定管理者の自己評価 フェスタ小瀬の後を引き継ぐイベントであるバスルスportsの企画も2年目を迎え、前を上回る2万人以上の来園があった。また野球場においてはプロ野球交流戦「横浜対西武」戦の誘致、開催など、よりスポーツ公園にふさわしいイベントの実施に取り組み多数の方々から来園いただいたと考える。 なお、平成20年度はプロ野球等の開催がないため平成19年度に比べ利用者数の減少が見込まれる。	施設所管課の評価・指導内容 公園利用者総数、有料施設利用者数、観客数ともH19年度計画を上回った。引き続き利用者増に努めること。 主催事業は、計画よりも参加人数が少ない教室も多いが、バスルスportsイン小瀬の参加者が多く、合計参加者数は事業計画と前年度実績を共に上回っている。参加者数が計画・昨年度よりも多かったものは、引き続き同様の対応をとり、少なかったものについては、改善策を検討すること。				
収支の状況	科目	H19年度計画額(円)	H19年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H20年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	108,369,000	115,196,000	-6,827,000	112,086,000
		指定管理料	451,778,000	451,778,000	0	459,048,000
		その他収入	1,864,000	4,069,000	-2,205,000	1,864,000
		計	562,011,000	571,043,000	-9,032,000	572,998,000
	支出	562,011,000	532,691,000	29,320,000	572,998,000	
差し引き(収入-支出)	0	38,352,000		0		
収支の状況	評価	施設所管課の評価				
	指定管理者の自己評価 収入は、無休営業、時間延長並びに親切丁寧な接客に取り組んだ結果、事業計画を上回る収入を得ることが出来た。 支出については、人件費の削減や管理業務の複数年契約等により、適正な管理を実施する中で経費の削減に努めた。 収益については、施設の改修や充実、県民のスポーツ振興、競技力向上に寄与する事業に充てている。	指定管理者の広報等の努力により、有料公園施設の利用料金収入が増加しており、評価できる。 一方、支出も増加しているが、これは原油価格の上昇による光熱水費・燃料費の増加によるものと思われる。 施設を更に有効活用し有料公園施設の利用料金収入を増加させるとともに、経費の削減に努めること。				
施設の運営目標の達成状況	概ね業務計画書以上の管理、事業を実施した。 平成18年度に引き続き、利用時間の延長、無休営業の実施等、利用者の便宜を図ることにより来園者や利用者の増加、利用収入の大幅な増加を達成できたことは、利用者のニーズにあった施設運営が評価されたものとする。また、スポーツの場の提供に関しては、植栽、施設、設備の保守管理や運営管理を計画書どおり実施することにより、利用者にとって、安全で快適にスポーツが行える環境が提供できたものとする。さらに、スポーツへの参加機会の提供についても、スポーツ振興事業における各種スポーツ教室やイベント等を実施する中で多くの方に参加をいただいたことは、小瀬スポーツ公園を利用してスポーツに親しむ機会を提供できたものとする。公園の防災機能の面についても、小瀬スポーツ公園震災時対応マニュアルを作成するとともに、災害時の対応について訓練や職員研修を行うなど緊急時に備えた。					
総合的な評価及び改善事項	園内は、清潔に保たれており、施設の安全管理や災害時の備えが適切に行われていた。 また、条例で定められているスポーツ振興業務、スポーツ講習会開催業務も計画的に行われており、管理運営は効果的・効率的であった。 良好な管理が行われているので、今後も管理・運営の質の向上に努めること。 H20年度で指定管理期間が終了するので、次期管理者に円滑な引継ぎができるよう努めること。					